

# 月刊 社会保険 7

2020 VOL.840

一般社団法人  
全国社会保険協会連合会

日本年金機構からのお知らせ

令和2年度の算定基礎届(定時決定)事務講習会について・算定基礎届の提出について

少子化社会対策大綱～新しい令和の時代にふさわしい少子化対策へ～(概要)

新型コロナウイルス感染症対策関係 令和2年度 厚生労働省第2次補正予算案のポイント

年金制度の機能強化のための国民年金法等の一部を改正する法律の概要

新型コロナウイルス感染症等の影響に対応するための雇用保険法の臨時特例等に関する法律案(概要)

厚生労働省からのお知らせ

2020年(令和2年)6月1日より、職場におけるハラスメント防止対策が強化されました。



<b>日本年金機構からのお知らせ</b>	
令和2年度の算定基礎届(定時決定)事務講習会について・算定基礎届の提出について	4
少子化社会対策大綱～新しい令和の時代にふさわしい少子化対策へ～(概要)	
6	
新型コロナウイルス感染症対策関係 令和2年度 厚生労働省第2次補正予算案のポイント	
8	
年金制度の機能強化のための国民年金法等の一部を改正する法律の概要	
10	
新型コロナウイルス感染症等の影響に対応するための雇用保険法の臨時特例等に関する法律案(概要)	
11	
<b>厚生労働省からのお知らせ</b>	
2020年(令和2年)6月1日より、職場におけるハラスメント防止対策が強化されました。	
12	
<b>年金・健康保険委員活動報告</b> 社会保険委員から健康保険委員そして年金委員	
中越合金鑄工株式会社総務課長 <small>ちやうえつこうきんちゆうこう</small> 河川 裕之 <small>かわくち ひろゆき</small>	18
<b>アマリストがいく!! ピンチをチャンスに変える謝罪術</b> 第3回 芸人の謝罪文から学ぶべきこと	
株式会社クロスリバー代表取締役社長 越川 慎司 <small>ししかわ しんじ</small>	20
<b>日本とは異なるイタリアの生活事情</b> 第3回 イタリアのロックダウン事情	
イタリア在住ジャーナリスト 西ヶ久保 徹郎 <small>あかねが くぼ てつろう</small>	22
<b>書評</b> <small>いし ひろゆき</small> 石 弘之 著『感染症の世界史』	
	24
<b>認知症とともに生きる家族の物語</b> 第3回 グループホーム入居で取り戻した夫婦の絆	
社会福祉法人心の会理事長・特別養護老人ホームさくらの里山科施設長 若山 三千彦 <small>わかやま みちひこ</small>	25
<b>認知症を予防する③</b> 第3回 地中海ダイエット/アルコール摂取/緑茶の抗アレルギー作用	
お茶の水健康長寿クリニック院長 白澤 卓二 <small>しろさわ たくじ</small>	28
<b>社会保険Q&amp;Aシリーズ</b> 健康保険編 30/年金保険編 32/介護保険編 34/労働保険編 36	
特定社会保険労務士 鈴木 ひろみ <small>すずき</small>	

—訂正とお詫び—本誌 2020年6月号(通巻 839号)目次ページ欄上部に「May」とあるのは「June」の誤りでした。お詫びして訂正します。

表紙写真・竹内敏信/イラストレーション・水森亜土/デザイン・編集協力・(有)フェイム/印刷・(株)エイエヌオフセット

表紙のこぼれ —— 竹内敏信 「光の響」**「オオハンゴウソウ」**

福島県 裏磐梯 うらばんたい



名前を知らないを人も多いかもしいないが、初夏によく見かけるこのオオハンゴウソウ。オオハンゴウソウは、とても繁殖力が強く、どんな環境でも適用できる。そのためによく見かけるといことである。外来種でもあるため嫌がられる植物であり、地域によっては雑草と同じ扱いで刈られてしまうこともある。しかし、写真的に考えてみると、群生で咲いていることが多いので、表現しやすいし、好きな条件で捉えることができる。

この作品のように夏のそよ風とともに撮影するのもいいものである。

© 本誌制作にあたっては、国等からの補助金等を一切受けておりません。



# 社会保険委員から健康保険委員そして年金委員



中越合金鋳工株式会社総務課長

河口 裕之

## ●委員

私が属している魚津社会保険委員会は、富山県の中心から若干東寄りに流れる常願寺川から東部県境までの範囲すべてを所管しています。

県内の社会保険委員会は、県庁所在地である富山市内の富山社会保険委員会を中心として、西部の高岡社会保険委員会、砺波社会保険委員会、東部の当委員会の4委員会で約2200名からなる富山県社会保険委員会連合会が構成されています。

個人的に社会保険関連業務や委員会活動に関わるようになったのは、平成10(1998)年10月1日付で総務課へ異動してからであり、当時は富山県知事から社会保険委員に委嘱され、その後の厚生省や社会保険庁の組織改編等により、年金委員の委嘱が社会保険事務局長、健康保険委員が全国健康保険協会支部長からありました。

そして、日本年金機構発足後は年金委員に関しては厚生労働大臣からの委嘱となり、社会保険関連の委員と称するものは、さまざまな影響により富山県内の委員数が減となる要因を抱えながら、現場としては大変困惑したのは私だけでしょか。

組織改編に伴い委員会活動が制限された中で、以前のように活発に活動できないのは大変残念ですが、従業員と行政との懸け橋となり親身になって対処することには、なんら変化がないように思えます。

## ●医療懇

富山県社会保険委員会連合会では、毎年3月に全国でも稀である「社会保険医療懇談会」を開催し、健康保険事業の円滑な運営に寄与しています。

これは、富山県医師会、富山県歯科医師会、富山県薬剤師会、全国健康保険協会富山支部、東海北陸厚生局に出席していただき、各師会等へ富山県社会保険委員会連合会の県内4委員会(富山、高岡、魚津、砺波)から提出され、選考した医療関連の疑問・質問に答えていただく会となっています。

本会の目的のひとつとして、県内4委員会がその時代背景をもとに被保険者が必要とされている話題を中心に、Webでは回答ができない内容を教示していただくこと、それ以外の選定前案件については各委員会で考察し、その地区委員会での情報共有を図り、理解を深め、さらな

る資質向上につなげていることだと思われま。

結果として、富山県内で診療報酬が適正に処理され、被保険者が疑問を感じることで医療費の削減につながり、付帯事項として健康寿命を延ばせる材料として活用できています。ではないかと自負しています。

## ●余命宣告と年金

弊社では、基本的に入社後全員が現場配属され、さまざまな職種の中で複数の業務を遂行した後に異動となりますが、私も少なからずそれに該当しますので現場、管理を経て総務課へ異動しました。その現場で労働組合員活動をきっかけに、公私ともお世話になった先輩の終末期における年金手続等に関して、死亡退職に至るまでのさまざまな手続について強く印象に残っていますので、その一部を紹介します。

彼は、日常の喫煙から肺がん罹患した従業員であり、相当のヘビースモーカーでした。幾度かの入院を繰り返しながら最後の入院でのレントゲン写真は、すでに肺が真っ白で、常に痰が出て自発呼吸がままならない状態でも、当時は病院内で喫煙制限範囲が厳しくない時代だった点

や、本人が余命宣告されすでに死を覚悟していた点等の背景から、自由に時間を過ごして息を引き取りたいといながら院内喫煙を毎日つづけていました。

残された家族も未成年者が複数名いることや、配偶者にも関連することなので、遺族年金制度や被扶養家族の扱い等を含めて生活設計を話し合っていました。その経過中冷静に自己を見つめ直し、生前に家族ともよく話せる環境になり、一従業員を看取り、葬儀の後も速やかに手続きができたことが双方にとって前を向いていけた重き経験となっています。

その経験から従業員の裁定請求についても関わるようになり、定年時に当事者が金融機関から年金手続をさせてほしいといわれたため依頼したが、金融機関が途中で投げ出したことが複数件あった案件に対しても対処できたことを記憶しています。その後処理等も含め、複数件裁定請求を経験したことで力量も上がりましたが、金融機関の口座獲得に関しては疑念が生じたことはいままでありません。

団塊の世代の裁定請求対応をする過程で、外部に委任状を出したくな

いとの声が多く上がったため、年金手続の手順等に関して、各方面と連絡を取りながら詳細事項に至るまで勉強しました。これにより行政の制度を理解し、スキルアップするうえで自己の成長につながると同時に、行政や従業員とよりよい信頼関係を築けたのも財産となりました。

このような場合においても、年金委員として行政側の補助者である点や、会社や従業員との懸け橋となり社会保険に関してもすべての手続きを社内ですべての重要な再認識できたことを皆様と共有共感できれば幸いです。

## ●ビジネス

私が勤務している事業場を紹介します。

弊社は、昭和24(1949)年に創業し、本年度71年を迎え、各産業界各社へ製品を納品しているいわゆるB to Bの取引となり、基本的に表面には見えにくい企業です。製品や取引先について多岐多様の業界に関わっていますが、日本国有鉄道時代には新幹線が国策として事業展開された際に、軸受材として材料指定を受けて初代0系の車両から現在のJR

新幹線に至るまで継続的に採用されています。

その他自動車産業界においては、自動車のミッション関係等国内外にも対応している一方で、製鉄関連製品ではトップシェアを占めているものもあります。

また、国策船のスクリーンを含む周辺製品や、昨年改元で頻繁に映像が出ていた皇居内の石橋や二重橋の装飾灯全基、ならびに二重橋側面にある装飾用美術鋳物の龍、新宮殿の屋根には棟飾美術鋳物の瑞鳥等も過去には納めさせていただいています。

そのような背景から当時の皇太子殿下ならびに皇太子妃殿下(現上皇上皇后両陛下)が弊社をご視察になられました。

最後に全国健康保険協会が推進している健康企業宣言では、富山県で



中越合金鋳工株式会社

Step1およびStep2の認定とともに第1号で認定されており、社会保険委員として従業員の健康管理等についても配慮し推進しています。今後も多様なアンテナにより、医療費通減に従業員や経営側双方が協調しながらよりよい制度づくりに継続的に取り組んでいきたいと思っています。

(富山県社会保険委員会連合会副会長)